

『プレハビリテーション介入における食道癌術後の身体機能低下予防への有効性』

に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	食道癌患者さんへの手術前の栄養指導・リハビリテーションは手術後の身体機能低下を予防する効果があるのかを検証します。
研究の方法	身体計測情報、血液検査情報、手術に関する情報、手術後の栄養補給情報等を電子カルテに記載されている情報を基に研究を行います。
対象者	西暦2016年12月1日～2024年4月30日の間に、患者支援センターを受診した食道癌の手術をされた方
利用する試料/情報	<p>① 臨床所見：年齢、性別、患者支援センター受診時の呼吸機能検査（肺活量・一秒率・PEF）</p> <p>② 身体所見：体格指数（BMI）、四肢骨格筋指数（SMI）、位相角、握力、過去6か月以内の体重減少率</p> <p>③ 血液検査所見：患者支援センター受診時のAlb、CRP、WBC、リンパ球、プレアルブミン、Hb、Plt</p> <p>④ 予後指標：③の情報よりPNI算出、②・③の情報よりGLIM診断、②の情報よりリサルコペニア診断</p> <p>⑤ 治療：手術前の化学療法施行歴、手術前栄養指導の有無、手術前メディカルフィットネス通所の有無、手術式・再建ルート・再建臓器・リンパ節郭清、手術時間、術中出血量、cStage</p> <p>⑥ 治療反応性・予後：嚥下障害（FOIS）、合併症（Clavien-Dindo分類、呼吸器合併症、反回神経麻痺）在院日数</p>
利用する試料/情報の取得方法	診療録の情報
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【当院単独研究】 済生会横浜市病院 大沢優也（研究代表者）
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第52回日本集中治療医学会学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年3月7日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 栄養部/管理栄養士/大沢優也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000（代表） 済生会横浜市東部病院 栄養部/大沢優也